

# 自然教育園（旧白金御料地）外周土塁の調査

岡 本 東 三\*

## Investigation of the Earthwork around the former Imperial Estate

Tohzo Okamoto\*

本報告は旧白金御料地として天然記念物及び史跡に指定された自然教育園の敷地内における排水管理設工事に伴う立会調査の記録である。調査は文化庁記念物課伊藤・岡本両名のほか、東京都文化課職員・港区学芸員・自然教育園職員等の協力を得て、1983年11月16日、22日、24日の3日間実施したものである。

調査の地点は指定地の北側をめぐる外周土塁が、ちょうど溺谷を堰き止めるように横切って構築された部分で、地形的にも最も低い場所にあっている(図1)。旧来より、この部分の土塁基部には指定地の園内から外側へ排水する暗渠が貫通している。しかし、この暗渠が外部へ通じる唯一の排水施設であるため、長い歳月の間に取水口にあたる土塁内側の一部が崩壊し、また、天然記念物の樹木にも大きな影響を与えはじめた。そのため、現暗渠を補強するとともに、隣接して新たに排水溝を掘削する計画が立てられた。この現状変更に先立って、土塁の土層断面と排水施設の確認を実施したのが、今回の立会調査である。土塁は基底幅が約20m、高さ約8mの大規模なもので、今回は土塁内側の崩壊部分の土層を観察することができた(図2)。層位は第1層から第7層に分かれ、第1層から第5層までが人工的な盛土である。第1層と第2層は後世の土盛と土塁の崩壊土とみられ、本来の土塁盛土は第3層以下と考えられる。第6層は旧地表、第7層は基盤となるローム層である。

排水施設はこのローム層を掘り込んでつくられており、木製の暗渠が布設されていた。この木製暗渠は幅46cm、厚さ5cmのマツ材の一枚板を四角に組合わせたものと考えられるが、現存していたのは底板と側板の一部であった。底板は取水口から2.3mと6.2mの2ヶ所で接合してい

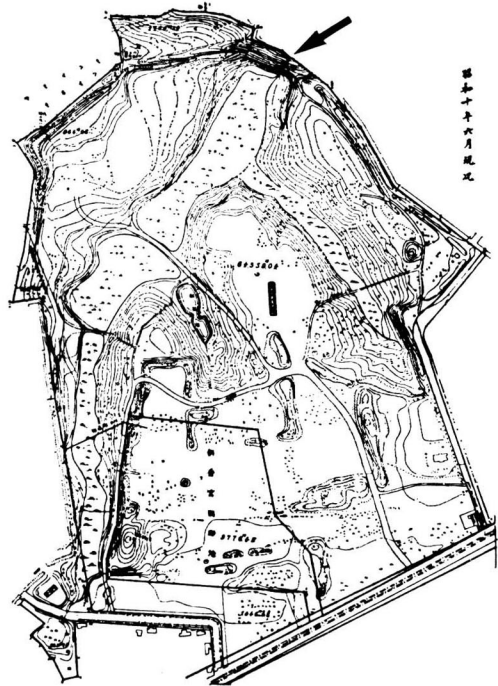


図1. 昭和10年ごろの土塁などを示す地形図

\* 文化庁文化財保護部記念物課, Monuments and Sites Division, Agency for Cultural Affairs

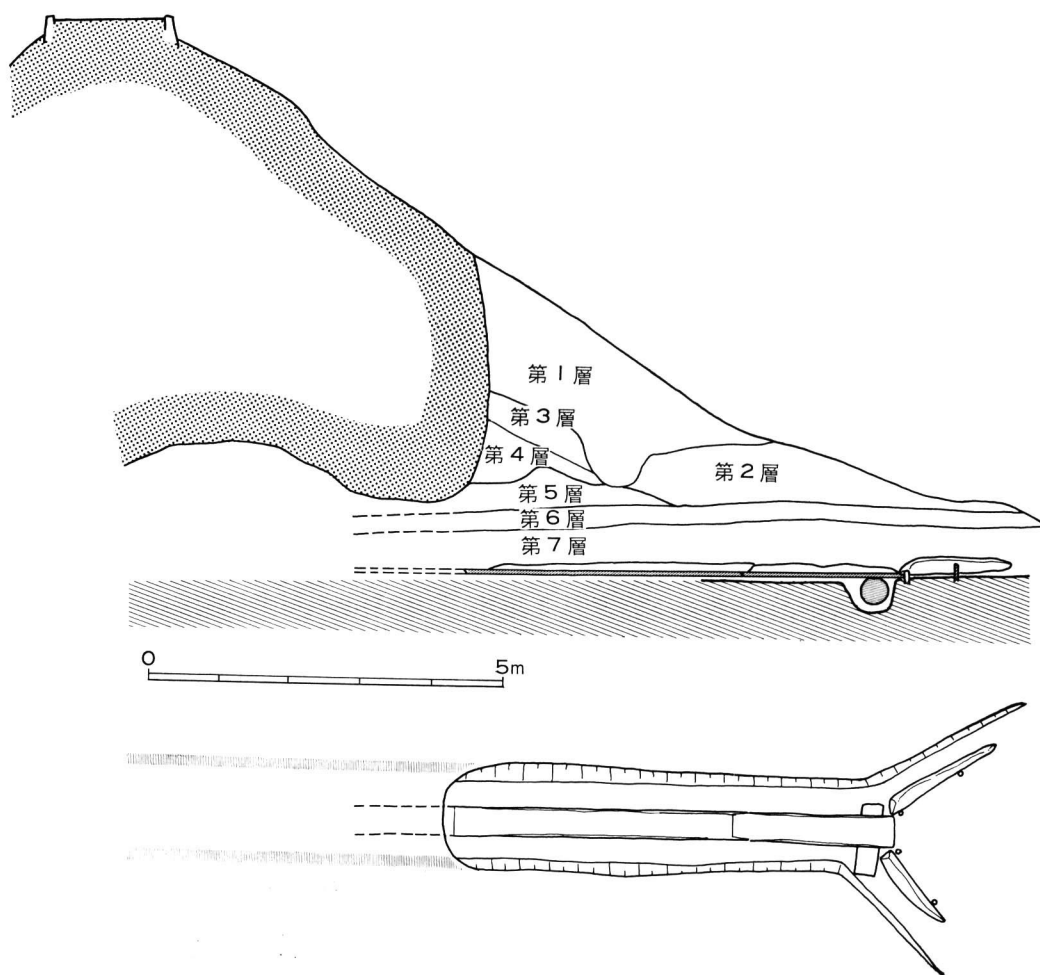


図 2. 土塁断面図と木樋平面図

る。側板は底板の上ののせて組合わせており、側板の内側から釘で留めているが、取水口の部分では外側から鋸を打ちこんで補強している。木製暗渠の下底部には長さ 1 m、径 40 cm の大きな丸木材を横に据え、暗渠の陥下を防いでいる。取水口の前面には長さ 1 m ほど、径 25 cm ほどの丸木を半截した材を用いて、ハの字状に杭で留めた導水施設がつくられている。

遺物は土塁の上層や導水施設から瓦、陶器類、ガラス製品が出土した。しかし、いずれも江戸時代末から明治・大正時代の遺物であり、土塁や木製暗渠の構築年代を決定づける資料は得ることができなかった。今後、旧白金御料地（自然教育園）の歴史的な変遷を詳細に検討しながら、土塁及び木製暗渠の年代を究明することが、残された大きな課題といえよう。

なお、土塁や木製暗渠とは直接係わりはないが、導水施設から出土した明治時代のめずらしい遺物を紹介しておきたい。その遺物はジェラル瓦と呼ばれるフランス式の瓦である（図 3）。この瓦は明治時代の初期（明治 6 年頃）から、フランスの瓦職人アルフレッド・ジェラルが横浜の工場で生産したもので、彼の名と製作年号がプレスされている。現在、この瓦は 11 ケ所で確認されているが、いずれも横浜を中心とした神奈川県下の発見例である。今回、ジェラル瓦が東京の白金の地で発見されたことは、何を意味するの

であろうか。プレスされた年号は 1887（明治 20 年）であり、この地は当時、海軍火薬庫が設置されていた。火薬庫の建物に使用されたものであろうか。この問題も合わせて今後の検討が必要であろう。

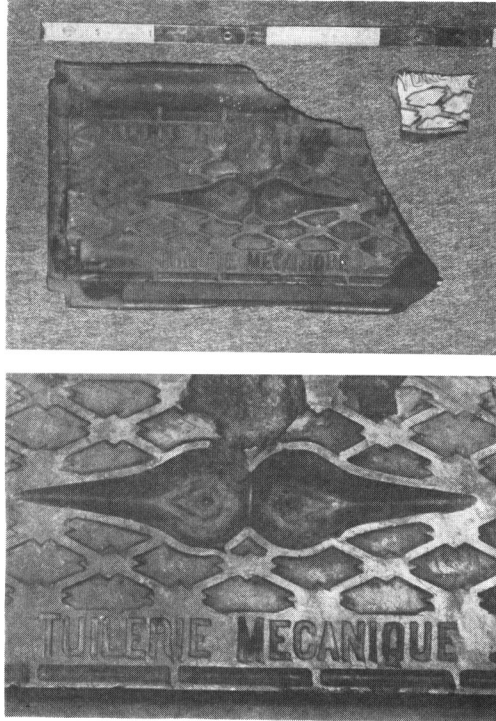
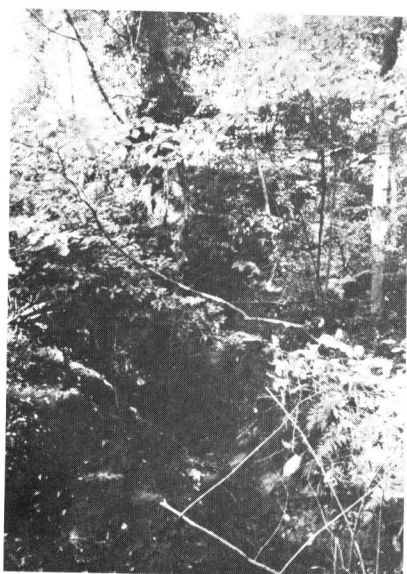
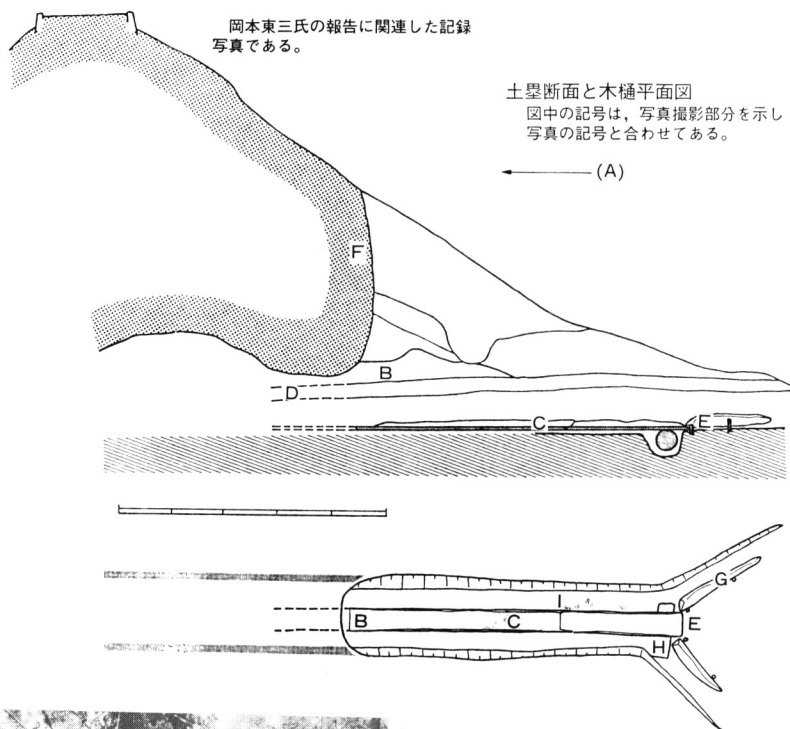


図 3. 発見されたシェラル瓦

資料 (1) 自然教育園外周土塁の調査状況記録  
— 自然教育園で作製 —



← 土塁の崩壊した状況 A方向よりみる

資料 (2)



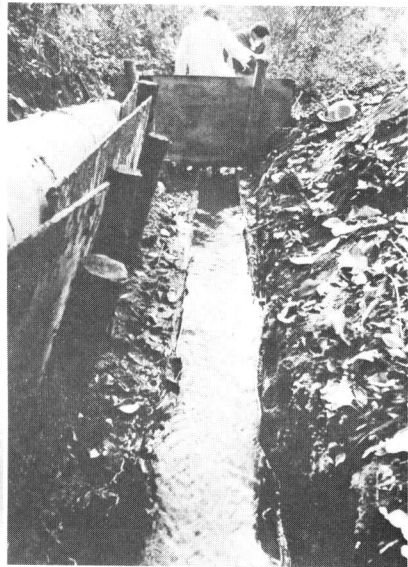
B地点



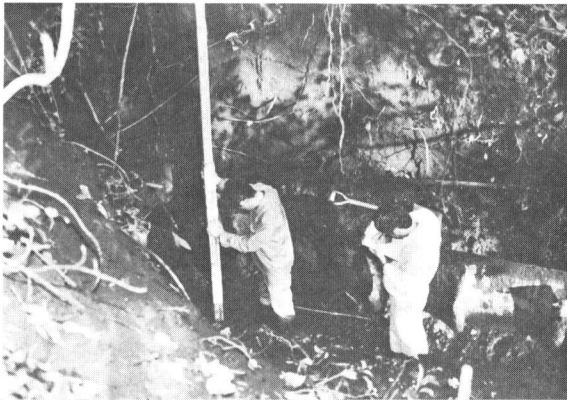
B地点



B地点

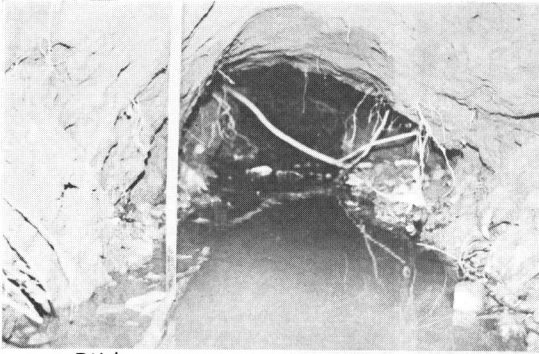


C地点



B地点

資料 (3)



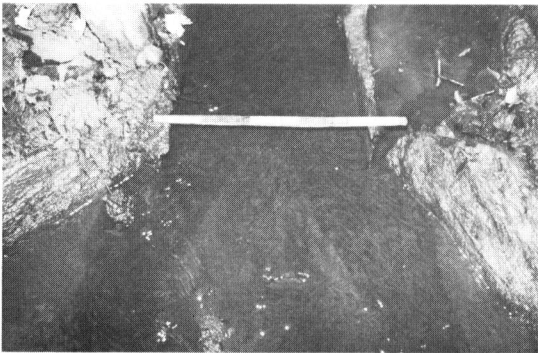
D地点



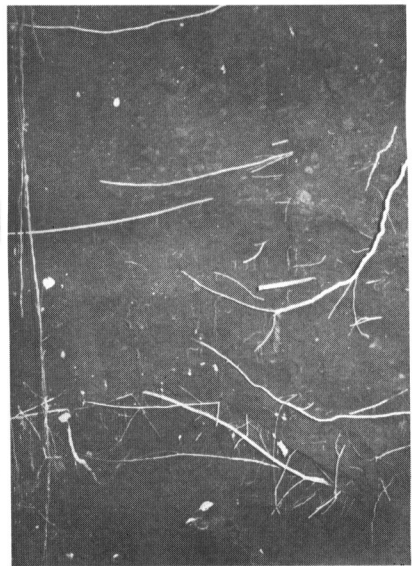
B地点



E地点



E地点

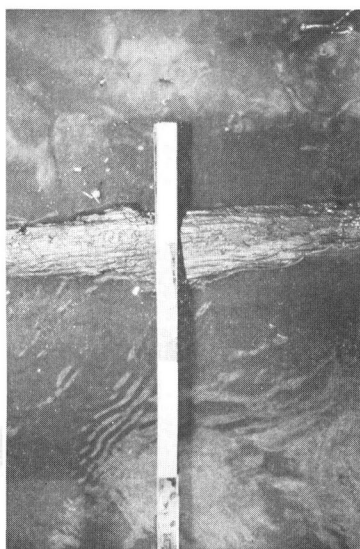


F地点

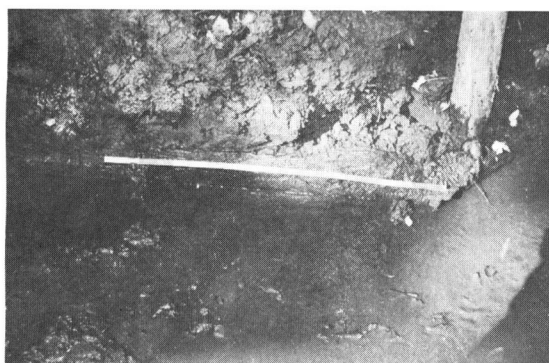
資料（4）



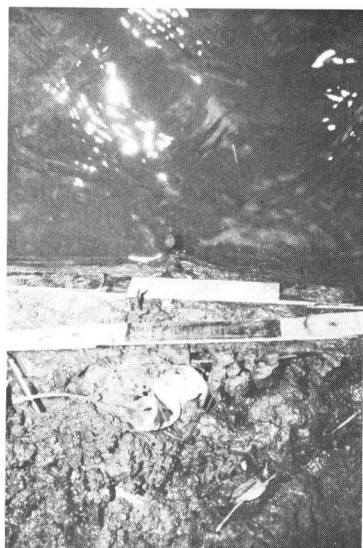
E地点



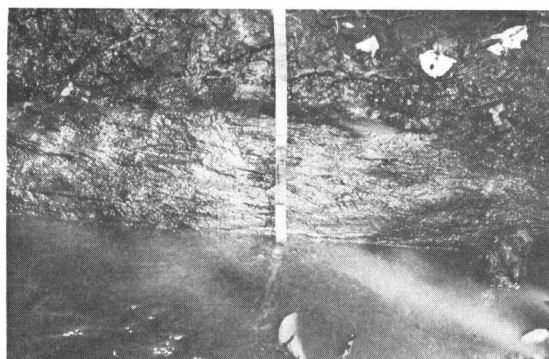
G地点



E地点



G地点

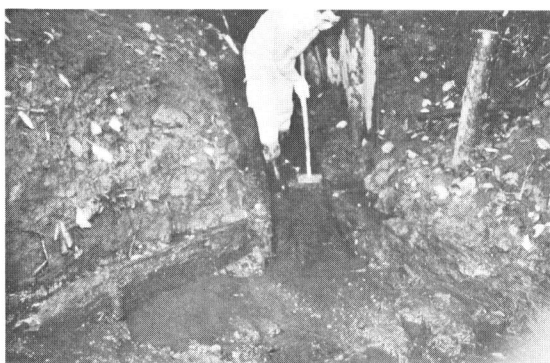


G地点

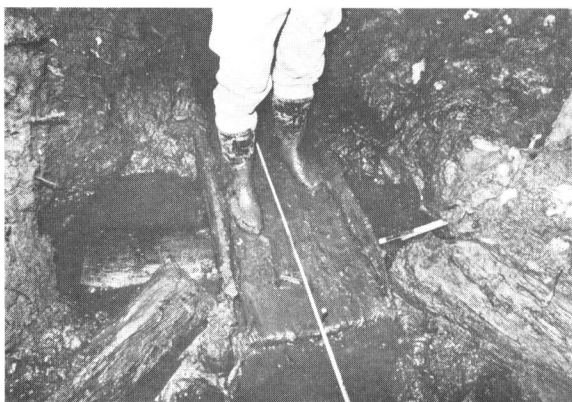
資料 (5)



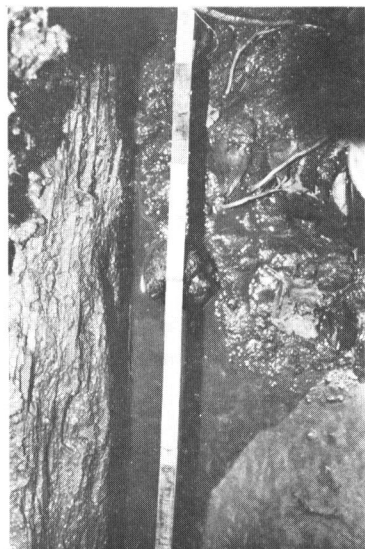
A地点



E地点



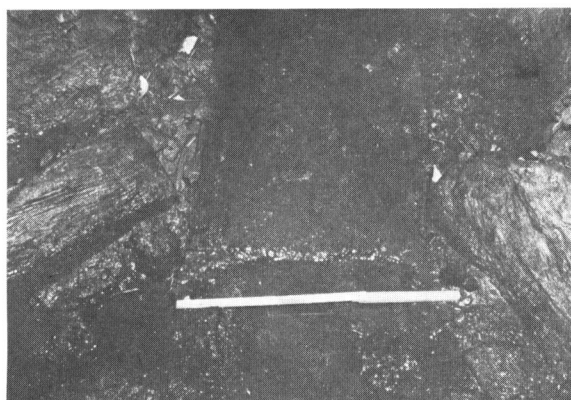
E,H地点



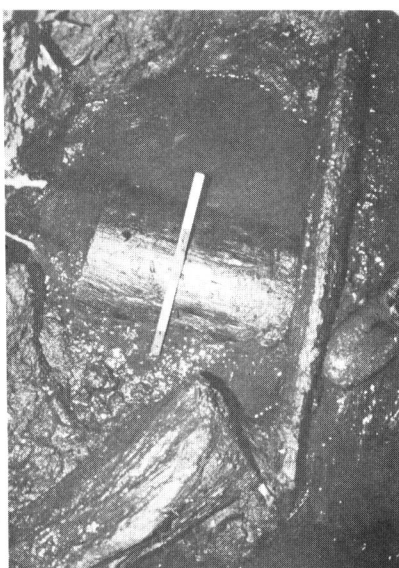
G地点



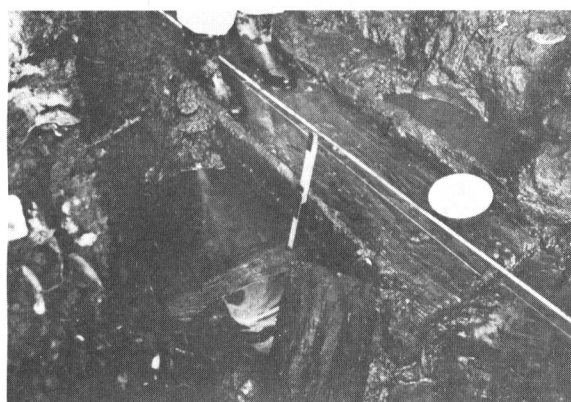
資料 (6)



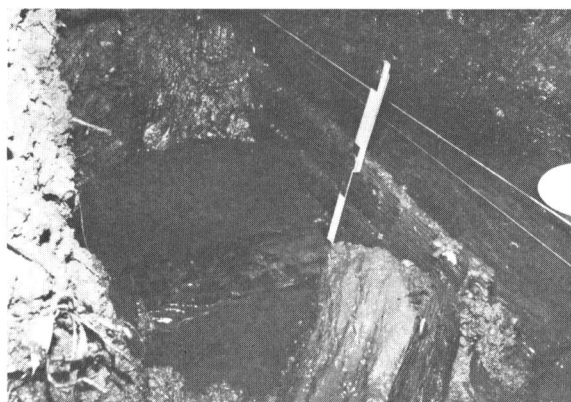
E地点



E,H地点



E,H地点

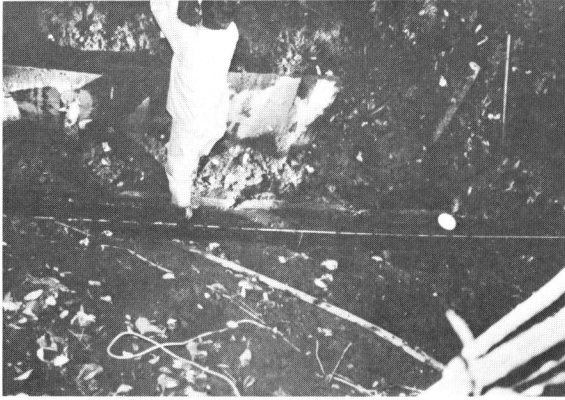


E,H地点

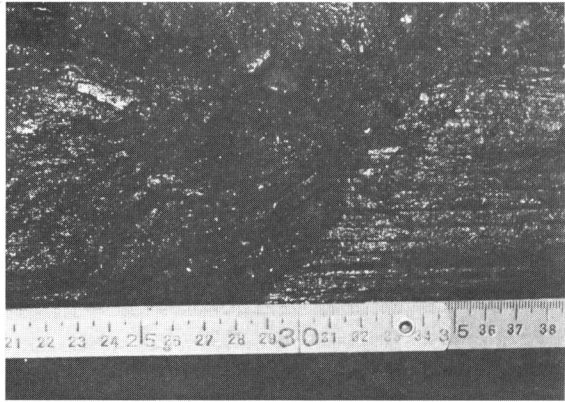


C地点

資料 (7)



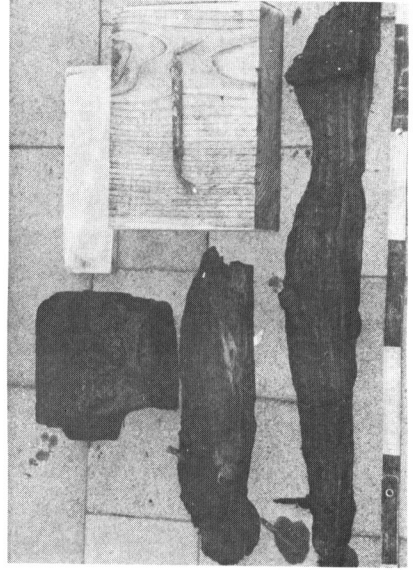
C地点



I地点



I地点



出土品の一部